



## 本センターで大切にしていること

沼津市青少年教育センター所長 内田 要

私が本センターに初めて赴任したのが5年前でした。相談員を職務として与えられ、青少年及び保護者の悩みを聴く仕事をする事になりました。その時に先輩の相談員から教わったことが「傾聴させていただく」姿勢を大切にすることでした。

相談員として必要なことは「させていただく」から始まります。様々な悩みを抱えた相談者は、センターに来るといふ一歩を踏み出してくれています。これまでの苦勞とその勇気に敬意を表しながら、面接相談を始めることが大切です。その姿勢は相談者に伝わります。それは積み重ねていくうちに相談員への信頼感につながっていきます。

次に話を聴くときに大切なのが「傾聴」です。「傾聴」とは、きちんと耳と心を傾けて相手の話を否定せずに理解しようとする事です。相手の話をあるがままに受け入れ、相手の立場に立って悩みに寄り添い、どうすればよいかを一緒に考えます。相談者の悩みを改善するヒントは相談者の話の中にあります。きちんと聴くことで悩みの改善の糸口が出てきます。

しかしながら、「傾聴」できていないと、悩みの改善の糸口は見えてきません。相談者が話を終わらないうちに、相談員が自分の考えを述べたり、相談者がやっと話してくれたことを最初から否定したりして、相談員が自分中心になってしまうと、面接相談は良い方向には進みません。あくまでも相談者中心で面接相談することが重要です。それは普段の人間関係でも言えることだと思います。「相手の意見を尊重し、相手の考えを認めた上で付き合っていく。」こうして信頼関係を作って初めて、相談者に頼りにされる相談員となると思います。

今も悩みを持ちながら何とか踏ん張っている方がたくさんいらっしゃると思います。本センターでは、そうした方々の一助となるよう、日々、相談員が「傾聴させていただく」姿勢で対応しております。補導活動において青少年の話を聴く際も、同様の姿勢で取り組んでおります。本センターでは、今後も「傾聴させていただく」姿勢を大切にしながら、寄り添う支援をしていきます。青少年に関する悩みを抱えている方がいらっしゃいましたら、是非、ご連絡ください。



# 面接相談&電話相談

◎ 非行・不登校・発達・子育て・進路・対人関係など、青少年に関する相談を直接（面接）または電話で行うことができます。



## 1 面接相談

◎ 相談受付時間…午前9時～午後5時 月～金曜日（祝祭日を除く）TEL951-3440

(1) 新規面接相談件数      10月～12月      30 件      年間合計      87 件

### <相談内容別件数>

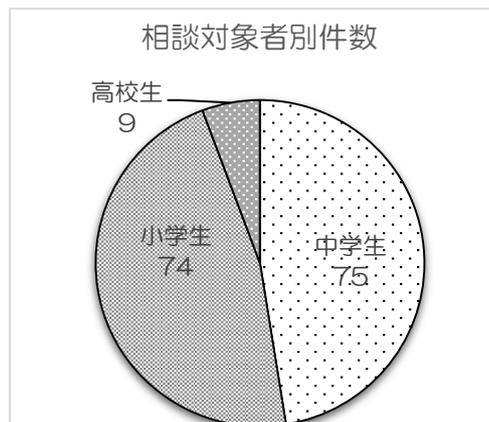
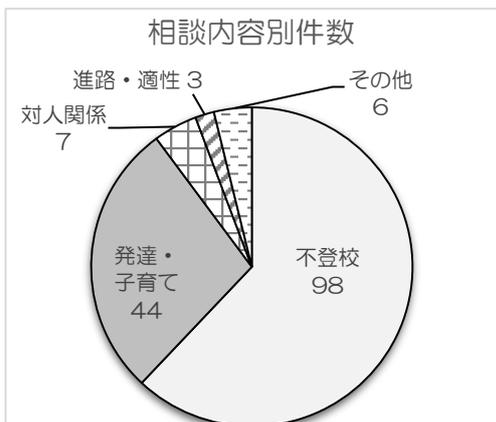
	非行	不登校	発達・子育て	進路・適性	対人関係	その他	合計
10月	0	4	3	0	1	0	8
11月	0	7	6	0	0	0	13
12月	0	4	2	0	1	2	9
合計	0	15	11	0	2	2	30
年間	0	51	28	1	5	2	87

### <相談対象者別件数>

	幼児	小学生	中学生	高校生	少年	成人	合計
10月	0	3	5	0	0	0	8
11月	0	6	6	1	0	0	13
12月	0	5	4	0	0	0	9
合計	0	14	15	1	0	0	30
年間	0	47	37	3	0	0	87

## (2) 4～12月までの面接相談件数

158 件



## (3) 4～12月までの面接相談回数

1947 回

※相談員が面接を実施した回数

## 2 電話相談（愛称：やまびこ電話 951-7330）

◎相談受付時間……午前10時～午後7時 月～金曜日（祝日を除く）

<相談内容別件数>



	非行	不登校	発達	性	進路・適性	対人関係	学校生活	問合せ他	無言	合計
10月	0	1	0	1	0	6	0	21	83	112
11月	0	2	0	3	0	4	2	12	48	71
12月	0	1	0	4	0	5	0	22	28	60
合計	0	4	0	8	0	15	2	55	159	243
年間	0	8	1	22	0	27	6	165	324	553

<相談対象者別件数>

	乳幼児	小学生	中学生	高校生	少年	大学・専生	一般成人	不明	合計
10月	0	1	1	0	0	0	26	84	112
11月	0	2	2	1	0	0	17	49	71
12月	0	0	2	0	0	0	26	32	60
合計	0	3	5	1	0	0	69	165	243
年間	0	7	10	3	0	4	191	338	553

### 情報コーナー

## コロナ禍の運動不足から思う

青少年教育センター 言語聴覚士 木内 園子

コロナ禍の約3年間、行動制限があった頃は出掛けられないストレスもあり、体を動かさなければと週末ごとにウォーキングを行っていた私ですが、徐々に出掛けないことに慣れてしまい、体を動かさなければと焦る自分も影を潜めてしまいました。家の中であまり動かない生活を自分の体が受け入れてしまったようにも感じ、これではいけないと思い始めていたときに、小学5年生と中学2年生が対象の2022年度全国体力調査についての新聞記事が目にとまりました。体力低下が全国的な傾向とのこと。コロナ禍が続き、運動機会が以前より減ったままになっている状況が影響しているとのことでした。

ことばの発達には、運動と切り離せない部分があります。正しい発音が確立するのは6歳ぐらいと言われていますが、子供が日常生活の中で身体を動かすことが、手先や口、舌などの細かい動きの発達にも影響し、話しことばの複雑な音も出すことができるようになるという経緯があります。

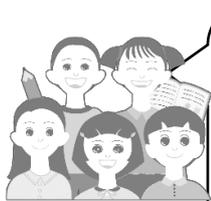
以前からことばの相談の中で、子供が外で遊ぶ機会が減っているのを感じてきました。小中学生の運動低下は、幼児期の子供たちの運動低下の延長線上でもあると言えます。

子供が、道路の縁石の上を歩きたがることや少し高い所から何度もジャンプすることも、その後の運動発達に大切なことです。一緒にいる大人にとって、ときに理解しがたい子供の動きにも意味があると思うと、そんな時間もゆったり寄り添えるかもしれません。

子供たちが体を動かす楽しさを体験できる場を増えることを願いつつ、私自身もまたウォーキングから運動を始めていきたいと決意した年の始まりでした。

当センターでは、発音や吃音など、ことばの相談も受け付けています。「子供の発音が気になる」「話し始めの詰まりが心配」など、気になることがございましたら、お気軽にご相談ください。





【はばたき】  
【相談指導学級】  
の様子

【体験活動「はばたき」】

(通称：はばたき活動)

- 10/6(木)パズル塗り絵に挑戦(5人)
- 10/19(水)鮎壺の滝へ行こう(8人)
- 11/10(木)沼津御用邸へ行こう(6人)
- 11/24(木)スマートフェンシング体験(6人)
- 12/8(木)クリスマスリース作り(16人)
- 12/21(水)クリスマス会(12人)

はばたき活動は、1対1の面接相談とは違い、他の通所生や担当以外の職員とも関わる小集団活動です。今年度も、新型コロナウイルス感染予防を徹底しながら、できる範囲で実施しています。

「鮎壺の滝へ行こう」では、ながいずみ観光交流協会の方の話を聞きながら、実際に滝を見たり、身近なものを使った噴火実験を体験したりしました。

「スマートフェンシング体験」では、フェンシング体験の他に選手の講演を聞き、夢と目標について考える貴重な機会となりました。



【BiVi 沼津3階F3BASE】

「クリスマスリース作り」では、今年最多の人数が参加し、思い思いにリースを作成しました。

【相談指導学級】

(通称：はばたき教室)

2学期に入り、穏やかな季節を迎えたことから、「ふれあいの時間」では、中断していたウォーキングを再開したり、創作活動を組み入れたり、通所生同士が楽しみながら関わり合える活動を計画・実施しました。中でも創作活動として行った折り紙やペーパークラフトでは、無心になって取り組む姿、完成した作品を互いに見合い談笑する姿が、数多く見られました。

またこの間、ソーシャルスキルトレーニング(SST)を6回実施しました。SSTでは、自分の強みを認識したり、ストレス対処法などを学んだりして、自己肯定感の醸成や、社会的自立をする上で役立つスキルの習得に努めました。一方、今日的な社会問題であるSNSのトラブルに巻き込まれぬよう、「SNSとの付き合い方」について、事例をもとに学びました。子供たちには、今回の「SNSとの付き合い方」で学んだことを生かし、より上手に社会生活が送れるようになってほしいと思います。

3学期は、1月5日(木)から3月17日(金)までの50日間です。これまでの成長を確認し、次の目標を立てる大切な時期になります。また、中学3年生にとっては、進路決定という大切な節目ともなります。新たな一歩を大きく踏み出せるよう、引き続き子供たち一人一人に寄り添いながら支援していきたいと考えています。



青少年教育センターの活動予定(2・3月の主な活動)

はばたき活動		補導関係	
2月9日(木)	パズル・クイズ大会	2月17日(金)	補導委員会代表者会
2月27日(月)	創作(紙粘土)		
3月8日(水)	伊豆・三津シーパラダイス		
中央街頭補導			
2月	1(水) 3(金) 8(水) 10(金) 14(火) 15(水) 21(火) 22(水) 28(火)		
3月	3(金) 7(火) 8(水) 14(火) 15(水) 17(金) 22(水) 24(金)		



【センターから見た富士山】

\*天候や新型コロナウイルス感染状況等により、中止や延期等の変更をすることがあります。

# 補導の状況

## 1 10～12月の街頭補導少年の学職別状況（中央補導・地区別補導）

県からの依頼を受け、12月に青少年を取り巻く社会環境実態調査及び県内一斉冬季少年補導を実施しました。ご協力ありがとうございました。

補導記録からは、減ったとはいえ、午後8時以降に見かける青少年とゲームセンターやプリクラの小中高校生が気になるなどの報告がありました。これからも、子供たちの健全育成のために、補導委員の皆さんによる地道で積極的な活動をよろしくお願いします。

【写真：中央街頭補導わたやす前】



学 職 別 区 分		性 別	小 学 生	中 学 生	高 校 生	そ の 他 学 生	有 職 少 年	無 職 少 年	計	年 間 累 計
行 為 種 別	飲 酒	男							0	0
		女							0	0
	喫 煙	男							0	0
		女							0	0
	薬 物 乱 用	男							0	0
		女							0	0
	夜 間 は い か い	男			18	4			22	32
		女				4			4	11
	不 良 交 友	男							0	0
		女							0	0
	怠 学 ・ 怠 業	男							0	0
		女							0	0
	ゲームセンター入場	男		5	7	34			46	134
		女			7	73			80	148
	パチンコ店入場	男							0	0
		女							0	0
	カラオケ店入場	男				7			7	8
		女				8			8	9
自転車の暴走行為	男				2			2	2	
	女							0	1	
自転車の二人乗り	男				1			1	8	
	女				1			1	2	
自転車の無灯火	男				1	1		1	3	24
	女				2			2	4	
危 険 な 遊 び	男		2					2	12	
	女		1					1	1	
そ の 他	男							0	7	
	女		2		1			3	4	
計		男	7	25	49	1	0	1	83	227
		女	3	7	89	0	0	0	99	180
男 女 合 計			10	32	138	1	0	1	182	407
法令違反・ ぐ犯行為に 関する連絡 ※	家庭・学校等	男							0	0
		女							0	0
	他 機 関	男							0	0
		女							0	0
男 女 合 計			0	0	0	0	0	0	0	0
*ぐ犯行為……将来、犯罪に発展するおそれのある行為										
愛 の 声 か け 運 動	男		77	75	77	5	10	1	245	657
	女		73	25	97		1	1	197	525
男 女 合 計			150	100	174	5	11	2	442	1182

## 2 少年補導委員の参加人数・補導回数・補導状況

	参加人数						回数				状況	
	市職員	教員	補導委員	地区代表	警察	補導委員区	計	午前	午後	夜間	計	の不良行為等の確認
10月	11	9	13	1	272	306	2	10	41	53	31	215
11月	13	7	15	1	290	326	1	12	42	55	69	116
12月	12	12	9	0	72	105	0	9	7	16	82	111
合計	36	28	37	2	634	737	3	31	90	124	182	442
年間	87	56	103	4	1917	2167	4	81	283	368	407	1182

### 補導の目

## 高校生による落書きクリーン作戦

青少年教育センター 竹内 一彰

【横山トンネル】

沼津市では、青少年の健全育成事業の一環として、高校生の手による公共施設等の環境浄化活動を、平成13年度から実施しており、今年で22年目を迎えます。高校生が自ら、自身を取り巻く環境を浄化することによって、「自分たちの街の景観が少しでもきれいになり改善されること」、「間接的に若者の環境浄化に対する意識を高めることにつながること」、「きれいになった状態を見て、何かを成し遂げた達成感を体験できること」などの効果が得られます。2年ぶりの開催となった令和4年度は、令和4年12月17日（土）に、静岡県立沼津商業高等学校野球部と地域活性部ボランティア班の生徒の皆さんが中心になり、横山トンネル（壁面プレート・横断防止柵）の浄化活動を行いました。高校生たちは、仲間と協力しながら、ひたむきに取り組み、トンネルは見違えるように綺麗になりました。以下に、代表生徒さんの感想文を掲載します。



「落書きクリーン作戦に参加して」 静岡県立沼津商業高等学校2年 鈴木 乎波

今回は、私にとって2回目のトンネル清掃になりました。やはり、車通りの多い道なので、排気ガスで至る所が真っ黒になっていて、見た目も悪くなっていました。だからこそ、今回の清掃で壁から手すりまで真っ白にできたことに、とてもやりがいを感じることができました。



寒い中、全員で協力し、前回よりも多くの範囲をきれいにすることができて良かったです。

私も普段から通学路として使っている道なので、通る度にとても良い気分になりました。また機会があったら進んで取り組みたいです。

【参加者集合写真：沼商校舎前】